

こうして私は“農の夢”を実現しました！

～ 岩手県農業公社の「新鮮いわて農業チャレンジ体験研修」受講のススメ ～

深持 翔太さん
(雫石町)

岩手県
雫石町

■令和2年に株式会社
いわて若江農園で研修
を受講。その後、雫石
町のトマト農家での研
修を経て、就農。
■現在は、ミニトマ
ト・大玉トマトを生産。

研修先：株式会社いわて若江農園

【FB】

岩手県盛岡市で、県内でいち早く環境制御型
農業に取り組み、トマトを周年栽培しています



◆ 本当に自分はトマトでいいのか？

地元雫石町でのUターン就農を考えていて、「トマトなら楽しみながらできそうかも？」ぐらいの気持ちで、町の担当者に相談に行きました。しかし、話を伺っていくなかで、「本当にトマトでいいのか？」という迷いが。そんな時に、町の担当者からこの研修を紹介され、作目を選ぶ判断材料を得るため、研修を受けることにしました。

◆ 社長との面談で、就農へのヒントが

研修では、トマトの収穫、パック詰めといった作業や、市場見学までさせていただきました。一番印象に残っているのが、若江社長との面談。社長の就農までの経緯や、経営に対する熱い想いを伺い、就農へのアドバイスもいただけて嬉しかったことを、今でもはつきりと覚えています！作業体験だけでなく、経営者とじっくり話せるのが、この研修の醍醐味だと思います！

◆ 自分には、トマトだ！と確信した瞬間

研修を通して、「自分にはトマトが合っている！」と確信が持て、品目選定の決心ができました。あれこれ考えるよりも、やってみる、が大事ですね。

◆ 研修で学んだことをしっかりと実践

研修先の取組で驚いたのが、収量や労働時間をきっちりデータ化していること。農業でもデジタル化できるのだと実感しました。自分も、アプリによるデータ管理を実践しています。

◆ 受講を考えている皆さんへ

これから新規就農を目指す人と話していると、「農業で食べていけるか」「資金面が心配！」と思ってしまう方が本当に多いと感じます。でも、困った時に手を差し伸べてくれる人は必ずいます。方々から、今でもたくさんのアドバイスをいただいています。そうしたつながりを作るためにも、まずは研修を受講してみませんか？わたしもみなさんの相談相手になれるよう頑張ります！

公益社団法人岩手県農業公社では、岩手県内の様々な農業経営体で、
最長5日間、無料で農業体験できる研修をご用意しています。
詳細やお申し込みは、コチラから！

[担当：就農支援部 Tel019-623-9390 ✉ninaite@i-agri.or.jp]

